

**2026 年度 美術の学校 実技講座 企画展「深沢紅子展 親しき人と野の花と」関連
ワークショップ「野の花を水彩画で描こう」(担当：岩瀬)**

日 時 2026 年 9 月 21 日 (月・祝) ①午前 10 時～11 時 30 分 ②午後 1 時～4 時

対 象 ①小学 2 年生～中学生 (小学 3 年生以下は保護者同伴、保護者一人につき
二人まで) ②15 歳以上 (中学生を除く)

講 師 波多野友香氏 (画家)

応募者 36 人 (①16 組 20 人②16 人) (オンライン申込 30 組 34 人 往復はがき申
込 1 人 関係者申込 1 人)

参加者 ①15 組 18 人 (2 人キャンセル) (保護者 12 人) ②15 人 (1 人キャンセ
ル)

参加費 ①1000 円 ②2000 円 (当日の企画展観覧券付き)

本講座は、一宮市に縁のある波多野友香氏 (画家) を講師に招待し、企画展「深沢紅子展 親しき人と野の花と」に関連して水彩画で野に咲く花々を描いた。深沢紅子の作品を鑑賞し、色の作り方や、モチーフの捉え方を考えながら、水彩画の楽しさを体験した。講師に制作のアドバイス資料を作っていただき、スムーズな進行に努めた。

午前の回 (子ども向け) では子どもの集中力を考慮し 1 時間半の予定であったが、下描きに時間を要したため、時間を超過してしまう参加者が多くみられた。今後は下描きを準備するなど、工夫したい。

午後の回 (大人向け) では 3 時間程度の制作時間を設けていたため、参加者は適度なペースで制作がすすめられたと感じる。講師が制作しているところも見たいとの意見があったため、今後は講師によるデモンストレーションの時間を設けたい。

全体を通して、制作前に深沢紅子の紹介や作品鑑賞をすることによって、制作をすすめていくよい動機付けになった。また、実際に制作をするという前提があったため、深沢紅子の水彩画を集中して鑑賞しており、普段は気づかない筆致や色彩に注目されていたように感じた。講座後に今回の講座で子供の成長を感じられ、作品を額に入れて飾ったとの報告もあった。

講座の様子

